

ニーズのある保育園の民営化を!

荒川議員 少子化の進行に歯止めがかからず、それぞれの保育園で定員割れとなり、適正な保育環境が出来ていない状況。子どもの育つ環境や運営面、また市の財政的な面から見ても非効率で不十分な状況と考えられる。そこで有効かつ迅速に少子化問題に対する方法として、公立保育園を民営化すべきと考えるが、民営化に向けた新たな取り組みについて伺う。

不嶋市長 「袖ヶ江保育園」と「のじま保育園」で民営化の話を進めている。現在、健康福祉審議会で審議をいただいているが、民営化によって多様な保育サービスを提供するとともに、軽減された財源を更なる子育て支援に充当し、活用を図っていく。関係する保護者の皆さまには、民営化の方向性の説明やアンケート調査を行い、民営化へ移行することによって、どのような保育サービスの充実を求めるのか、ご意見を伺っている。今後は、意見を集約し、保護者のニーズに対応した民営化が実現するように取り組んでいく。



袖ヶ江保育園

- その他の質問項目
- 市長選、投票率向上 ■地域福祉の充実
 - 交流人口の拡大 ■新たな産業創出
 - 空き家対策、住宅政策 ■公立能登総合病院

日本人観光客の誘客にも努めよ!

岡部議員 近年、外国人の訪日観光客数が伸び、これを地域の活性化に繋げることは重要だが、まずは日本人の国内旅行を重視することが必要。直近で日本人観光客の消費額が訪日外国人の5倍以上に達し、日本人の観光客数は、ほとんど伸びていない。日本人が暮らしに余裕をもち、ゆとりを持って国内旅行が出来る環境を作り出すことが重要。また、今後、地方と都会の交流をいかに増やし、地域観光の市場活性化に繋げていくかが重要。市長の見解を伺う。

不嶋市長 国では2020年までに外国人旅行者を4千万人に、同時に県でも2020年までに60万人、2025年までに100万人にという目標を掲げている。国内観光の振興には、外国に目を向けた観光誘客を柱にする必要性はある。七尾においては、国や県と呼応して、外国人向けの受け入れ態勢の拡充を図っていく必要がある。とはいえ、七尾市にとって日本人観光客が圧倒的に多い状況。今後も日本人観光客を大切にすおもてなしが大事だと考える。そういった意味で、より一層、国内観光客の誘客に努めていくことが大事である。今後は、しっかりと両面にわたって事業者に働きかけをしていきたい。



北陸新幹線

- その他の質問項目
- 地方創生 ■行政経営のプラン策定
 - 公共施設のマネジメント ■国民健康保険税

より一層の七尾港の利活用を!

佐藤議員 ①七尾港は、日本海側拠点形成促進港に選定され、原木の取扱量の更なる増を目指しているが、北洋材原木やLPG等の貨物が近年減少している。今後、これらの取扱量の増大や利活用促進を図るために、どのような展開をしていくのか。②クルーズ船の七尾港誘致活動も重要と考えるが、今後の対応はどう考えているのか。③昨年11月に廃止になった遊覧船「能登食祭市場」から出ていた「かしまづ」だが、七尾港の利活用と交流人口の拡大などの視点から、再開に向けて積極的に働きかけていくべきと思うがどう考えているのか。

不嶋市長 ①平成27年の輸入取扱割合は、石炭とLPGで9割以上となり、原木や木材製品は大変厳しい状況。今後は新たな取扱貨物の掘り起こしが急務で、ポートセーカールの一翼を担い、果たしていきたい。②クルーズ船誘致は、官民連携して毎年船会社や旅行代理店へ訪問したり、配船担当者市に招へいして寄港誘致に努めている。今後も経済界を中心に関係者とスクラムを組んで積極的にポートセーカールスを行っていく。③遊覧船の再開に向けて、現在民間の事業者が船を確保し、国への運行許可を申請しているところで、現在調整中である。七尾の魅力発信する上でも、早期の運行を期待している。



七尾港に寄港した日本丸

- その他の質問項目
- 鳥獣被害対策 ■人事評価制度

英語教育の充実を図れ!

高橋議員 2020年から小学校で英語が正式な教科書として必修されることになり、デメリットは何か。市は、既に外国語活動として英語の授業を実施しているが、どのようなことを身につけてもらおうと考えているのか。また、金沢市で先行して英語特区として教科書が進んでいるが、七尾市としても先行する考えはないのか。

近江教育長 メリットは、小学校の段階から英語の音声に慣れ親しむことで、英語によるコミュニケーション能力の素地を養うことができる。中学校以降の学びに円滑に接続することが出来る。デメリットについては、書くことや知識量が増えることで児童への負担が増え、教員の指導力が必要になるが、それをデメリットと捉えず、この課題を克服するために今のうちから取り組んでいく。七尾市では、英語を話す活動を通して、英語でコミュニケーションする力が少しずつ身につく、楽しく英語に触れ、スムーズに英語活動が行われることを期待している。現在、七尾市では小中高連携による英語力向上の取り組みを独自で行っており、2020年の教科書の準備段階として万全を期して取り組んでいる。それと並行しながら、現場の教師の英語指導力の向上を行い、進めていきたいと考えている。



英語の教科書

- その他の質問項目
- 大学の連携協定 ■移住定住

「でか山」を日本一に!

杉本議員 青柏祭の曳山行事が「山・鉾・屋台行事」の一つとして、ユネスコの無形文化遺産に近々登録された際には祝賀行事全般にわたる支援体制をお願いしたい。そこで、でか山三町の紋章について、全く同じ図柄の紋章が2つ以上あってはならず、代々継承された実績をもつ世襲的なものである。今は誰でも使用でき、放置できない状況。その対応として、紋章の意匠登録をするために支援できないか。また、以前にも質問したが、でか山を「日本一の曳山」と呼ぶことが出来ないのか。

不嶋市長 紋章について、家紋などとして広く昔から一般的に使われている。意匠であることには違いないが、登録になるかという点、極めてハードルが高い。2つ以上ない、代々継承されて世襲的な要素など条件があるなかで、その紋章が「でか山」発祥のものなのかどうかというところで、相当議論を重ねられ、かなり難しい状況である。また、ユネスコの無形文化遺産に登録された際には、市民とともに祝意を表して、どのような祝賀にするのか関係者らとも相談していく。そのなかでPR費用や印刷物などで「日本一」という言葉が使えないような根拠付けできるようにしていきたい。



青柏祭「でか山」

- その他の質問項目
- 議案について ■浸水対策 ■教育問題
 - 花嫁のれん館 ■西湾一周万本桜並木道づくり

救急体制の強化・充実を!

山崎議員 七尾鹿島消防本部における救急出動搬送で、病院側の受け入れ拒否があったか。公立能登総合病院における1年間、管轄外からの救急搬送はあったか。高齢化が進む中、救急搬送が増え、時間外での対応も増えるが、病院の対応はどうか。高厚生労働省が公表する充実段階評価では、公立能登総合病院の救急体制の強化と、このことで改善が進みつつあるが、一部は正する箇所の改善が進まない理由は。

長門消防長 平成27年の救急出動は、2852件。救急搬送は、市内2カ所の救急指定病院と調整を図り、全ての救急患者が市内の病院で受け入れられている。

吉村病院事業管理者 公立能登総合病院での平成27年度の救急搬送受け入れは、1848件。消防本部からの受け入れは、1453件。管轄外からは395件。高齢化に伴い、病院では医師と救急外来の看護師を増加した。脳卒中などの緊急を要する患者に対しては、専門医が自宅待機で逐次治療している。充実段階評価では、救急専門医が不在、救命救急士が気管挿管の実習をしていない点、救命救急士が、当院の医師1名が救急専門医の資格をもうすぐ取得する見込み。また、救命救急士の気管挿管は、今年度から金沢大学の麻酔科医が3名常勤したことで、来年度から受け入れ開始する。



公立能登総合病院

- その他の質問項目
- 特設公衆電話の配備
 - ケーブルテレビのチャンネル変更
 - B型ワクチンの定期接種